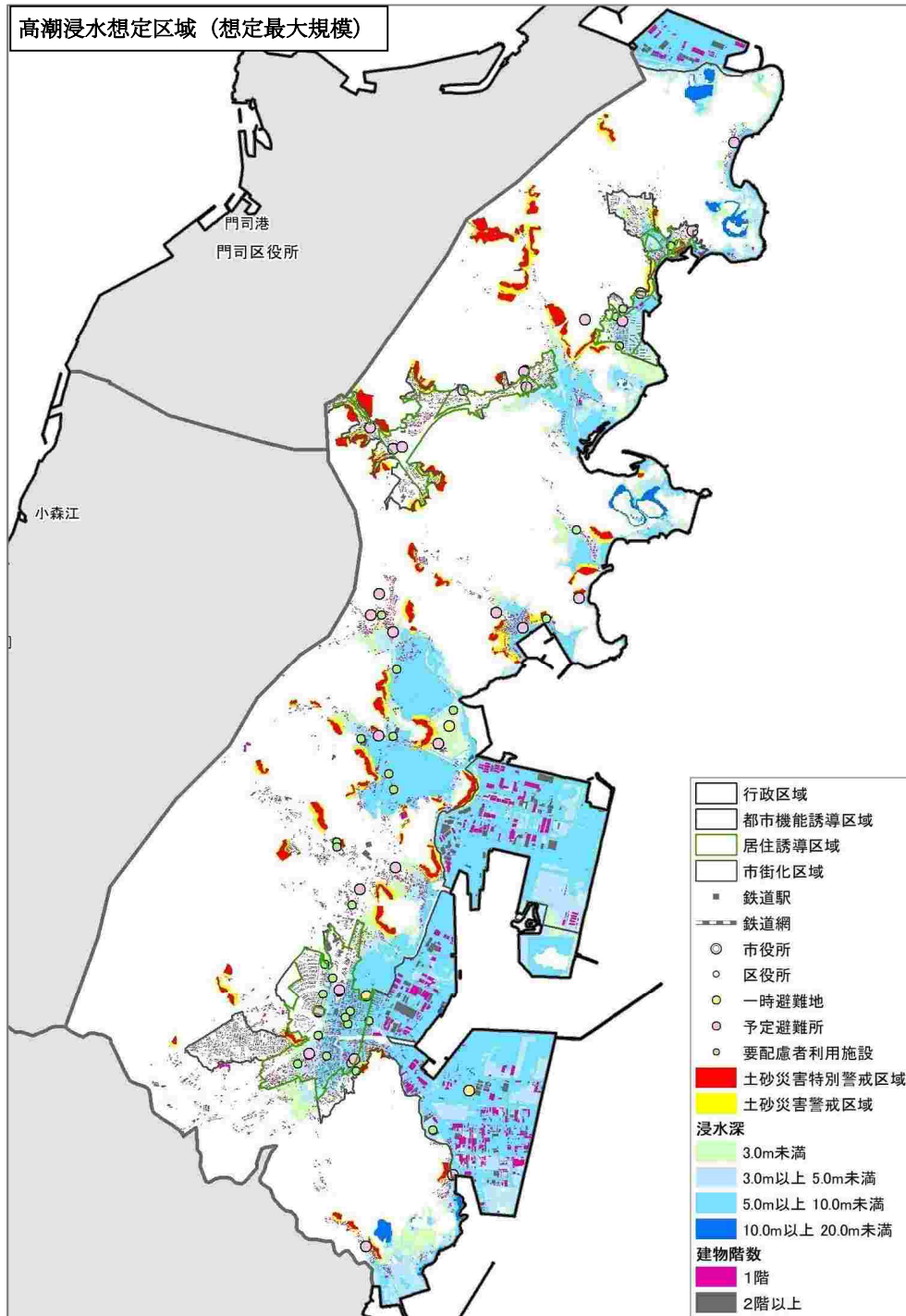


3) 新門司 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは周防灘に面し、長距離フェリーによる物流拠点となっています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約1,600棟存在します。浸水深3m以上の建物は約1,300棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は20カ所あり、うち居住誘導区域内では5カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟あり、うち約40棟の浸水が想定されています。

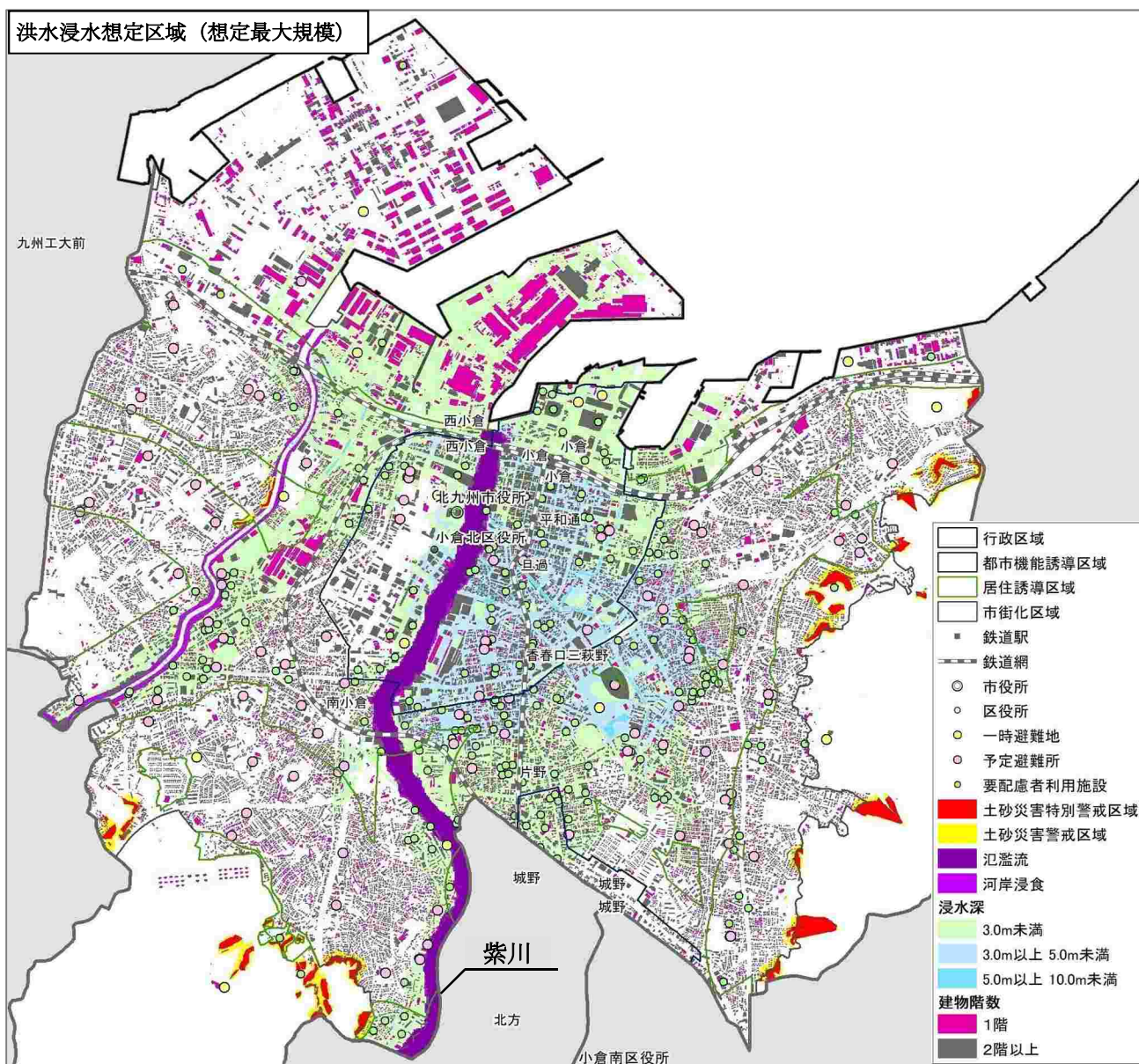
	エリア内				居住誘導区域内			
	全施設数	適応災害種別(施設数)			全施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水土砂	高潮	津波		洪水土砂	高潮	津波
一時避難地	10	8	5	10	3	3	2	3
予定避難所	29	20	20	23	7	6	5	6



4) 小倉北 (主要な想定災害：洪水)

- 本エリアは「都心」に位置付けられており、行政区で最も人口密度が高く、エリアの中央には二級河川の紫川が流れています。
- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約12,000棟存在します。浸水深3.0m以上の建物は約4,000棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 浸水継続時間は、想定される建物のうち9割が12時間未満ですが、12時間～1日未満は約800棟該当します。
- 紫川と板櫃川の河岸侵食による、家屋倒壊等氾濫想定区域の建物は約500棟あります。また、氾濫流に該当する木造建物は約300棟です。
- 想定最大規模の洪水浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は77カ所あり、うち居住誘導区域内では57カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約300棟あり、うち約200棟の浸水が想定されています。

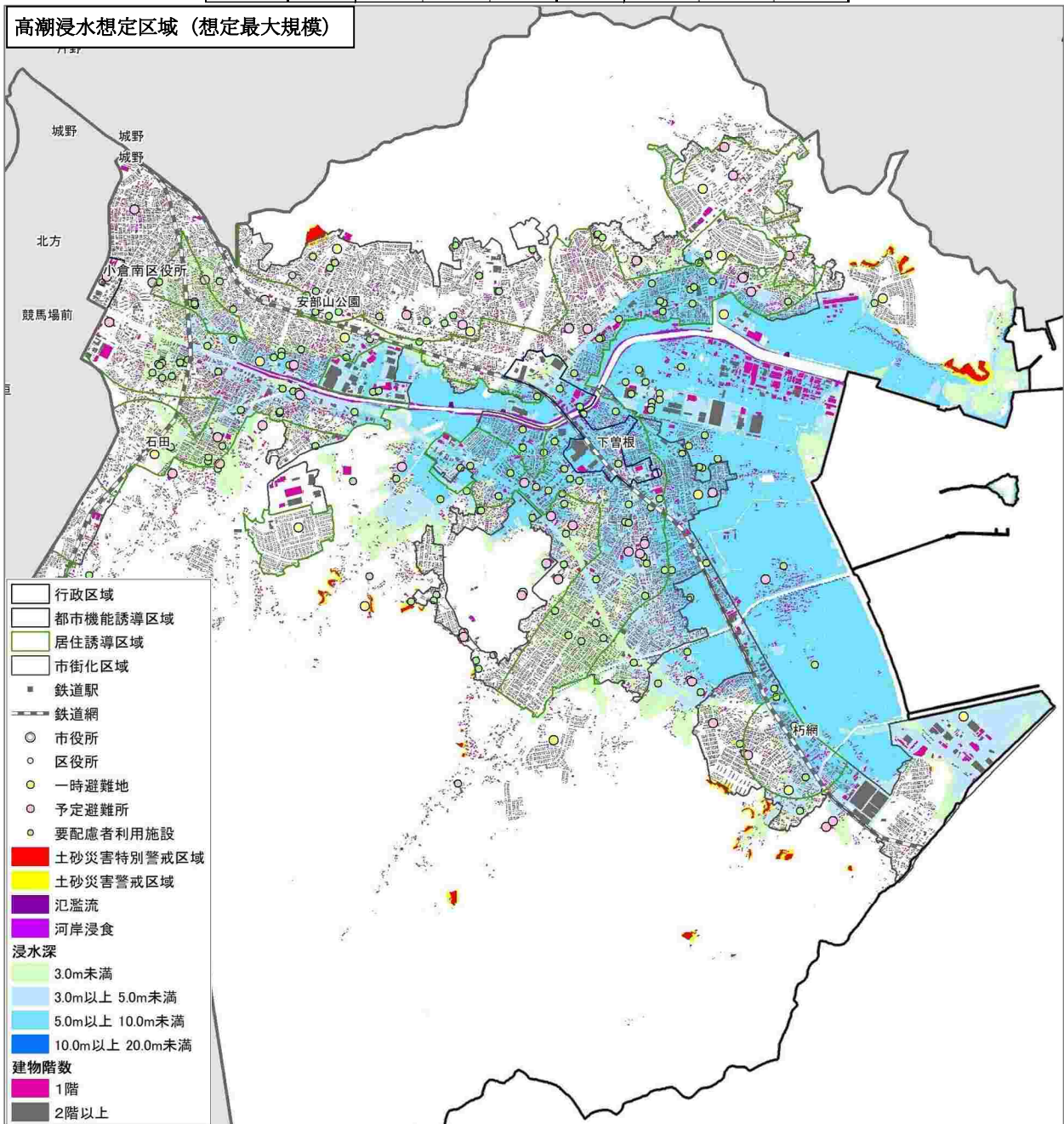
	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	37	28	30	35	21	17	17	20
予定避難所	87	77	82	67	64	57	59	50



5) 小倉南（東部） （主要な想定災害：高潮）

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、中心部に二級河川の竹馬川が流れています。
- 高潮浸水想定区域（想定最大規模）には、建物が約12,000棟存在します。浸水深3m以上の建物は約7,800棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 洪水による想定最大規模の浸水想定区域には、建物が約3,000棟存在しますが、浸水深3.0m以上の建物は存在しません。
- 竹馬川の氾濫流及び河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域に存在する建物は約20棟です。また氾濫流に該当する木造建物はありません。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所（災害時に避難が可能な施設）は26カ所あり、うち居住誘導区域内では12カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約240棟あり、うち約30棟の浸水が想定されています。

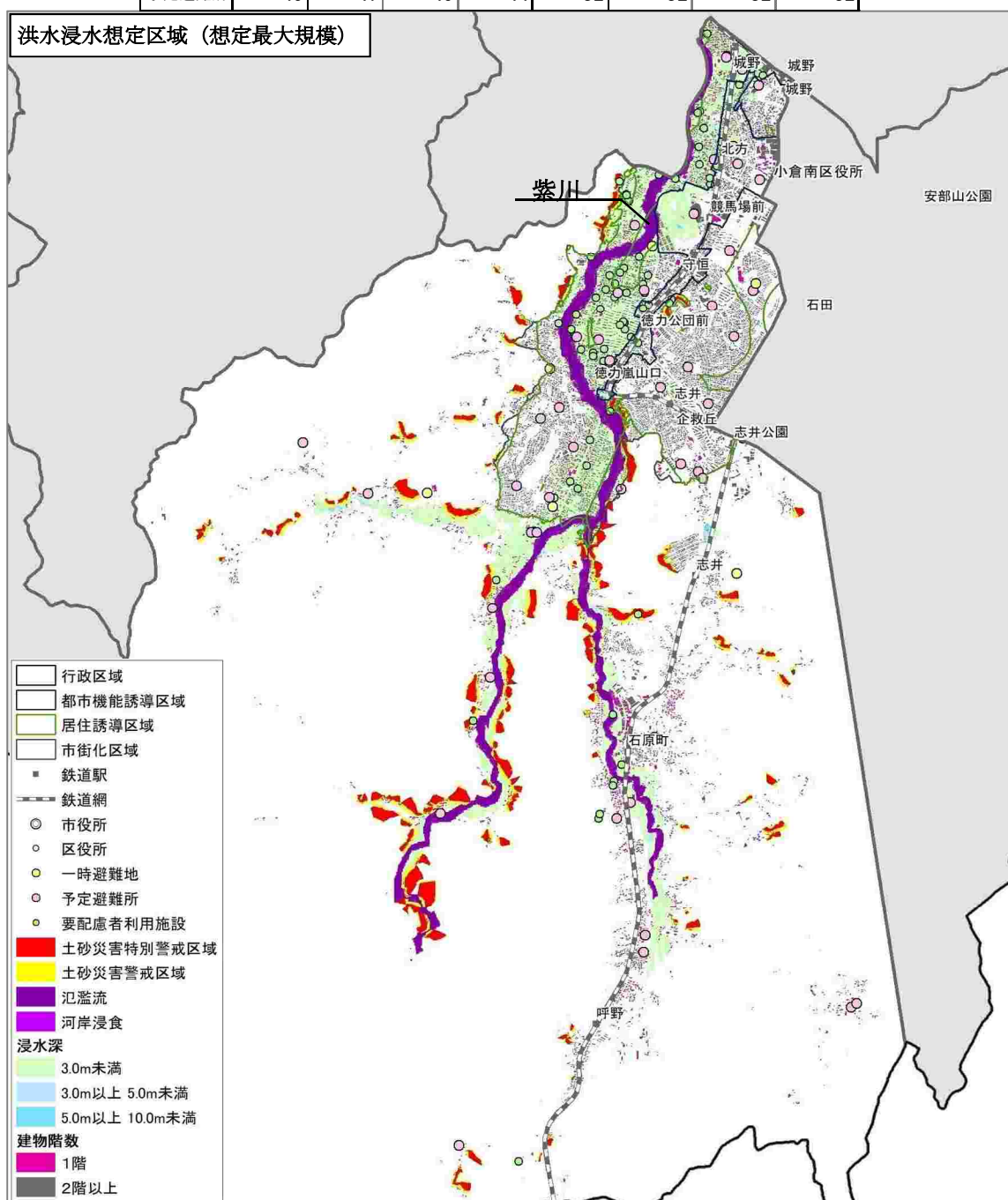
	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	30	26	16	27	14	13	5	14
予定避難所	43	43	26	38	21	21	12	20



6) 小倉南(西部) (主要な想定災害: 洪水)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、二級河川の紫川が流れています。
- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約5,600棟存在します。浸水深3m以上の建物は約60棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 紫川の河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域の建物は約500棟あります。また氾濫流に該当する木造建物は約300棟です。
- 想定最大規模の洪水浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は47カ所あり、うち居住誘導区域内では32カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約100棟あり、うち約80棟の浸水が想定されています。

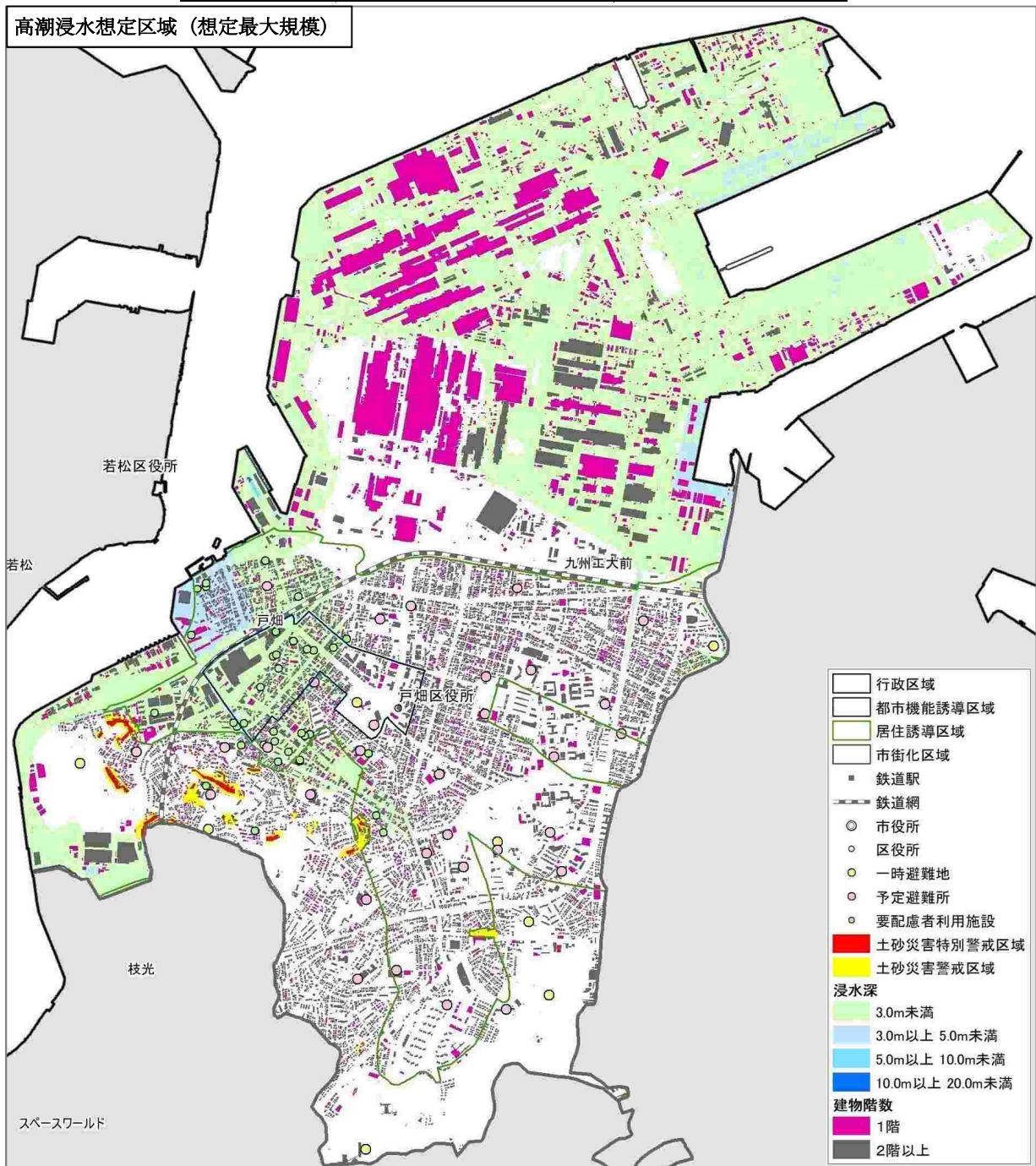
	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	25	21	25	25	11	11	11	11
予定避難所	49	47	49	44	32	32	32	32



7) 戸畑 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、北部は広範囲にわたって工業地域となっています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約2,100棟存在します。浸水深3m以上の建物は約350棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は27カ所あり、うち居住誘導区域内では18カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟あり、ほとんどの施設で浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全施設数	適応災害種別(施設数)			全施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	21	19	19	21	10	10	9	10
予定避難所	31	30	27	31	22	22	18	22



8) 八幡東 (主要な想定災害：洪水)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、教育施設や芸術施設が立地しています。
- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約700棟存在します。浸水深3m以上の建物は約10棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 板櫃川の河岸侵食による、家屋倒壊等氾濫想定区域の建物は約500棟です。また氾濫流に該当する木造建物はありません。
- 想定最大規模の洪水浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は38カ所あり、うち居住誘導区域内では17カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟ありますが、浸水が想定されている建物はありません。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	26	21	26	26	10	9	10	10
予定避難所	43	38	42	39	17	17	16	15

